

実施計画事業名		開業医誘致推進事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		生活福祉部保健課		課長(主幹)名	伊豆健俊		
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉				
	政策	1	健康づくりの推進と医療の充実				
	施策	1	医療体制の充実を図ります				
	関連施策						
現状と課題	本市の診療所は、年々減少しており、このままでは本市の一次医療を取り巻く状況は危機的な状況となることから、平成18年4月に「稚内市開業医誘致条例」を制定し、道内の勤務医に対するPR等を行ってきたが、平成21年に1件申請があり、平成22年4月に開業されたところである。しかしながら、開業医の現状は、開業医の高齢化が進んでいることから今後においても積極的な誘致活動が必要と思われる。						
目的	本市の区域内に診療所を開設する開業医に対し、診療所開設に係る費用の一部を助成することにより、新たな開業医の誘致を推進し、本市の一次医療の拡大を図り、市民の健康と福祉の増進に寄与する。						
5ヶ年開の施策	<ul style="list-style-type: none"> ・制度のPR ・申請者に対する助成の申請及び交付 						
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	市内診療所誘致数		件	目標	1	0	1
説明	誘致した診療所数(助成決定をした月日を基準とする)			実績	1	0	
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度
	制度のPR回数		回	目標	2	2	2
	説明	市のホームページの他、医療雑誌等におけるPRの回数			実績	2	0
	市内診療所数		件	目標	8	9	10
	説明	稚内市内に開設されている診療所(歯科除く)件数			実績	8	8
	稚内市開業医誘致助成審査委員会開催回数		回	目標	0	0	0
	説明	稚内市開業医誘致助成審査委員会を開催した回数			実績	0	0
説明				目標	-	-	
説明				実績			
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	26,105	4,290	5,558		
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	0	0	0		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	26,105	4,290	5,558		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.22	0.08	0.08		
人件費(B)	千円	1,524	543	543			
計(A+B)	千円	27,629	4,833	6,101			
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年～)からの状況変化</p> <p>平成22年度に整形外科病院開院 ※22年度の中途において他課より当課(保健課)に事務移管</p>						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する>
	市内の公的医療機関や宗谷圏域における医師の確保の困難性や市内開業医の高齢化は、顕著な状況にあり、本制度を活用した誘致事業の展開は、非常に緊急性の高いものと捉えます。 制度の一層のPR活動とともに、市民からの対象者についての情報が得られやすい方策の研究、あわせて既開業医の理解が不可欠でもあり、宗谷医師会等との連携を充実、強化する必要がある。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する>						
	市民の一次医療機関の充実は重要課題であり、今後は更なるPRに努めるとともに、各種団体及び市民の協力により本市出身者等の医師の情報収集に努める必要がある。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--